

<第166号>

事務局だより

平成29年2月10日発行

現在の会員数

合計 222名

(男性 152名)

(女性 70名)

□第8回互助会トランプ大会のお知らせ

互助会主催のトランプ大会を下記のとおり開催します。豪華賞品をご用意していますので、皆さん奮ってご参加ください。

日時	2月24日(金)午後1時～午後4時45分
場所	シルバーワークプラザ 2階
募集人員	18人
会費	2,000円(当日徴収します。)
締切	2月16日(木)までに事務局へ電話でお申し込みください。
備考	①6ニンカンとします。 ②大会終了後、表彰並びに懇親会を行います。 ③都合により参加できなくなった場合は、速やかに事務局へ連絡してください。 ④雪で駐車スペースが少なくなっています、できるだけ車以外でお越しください。

□新年度会費について

平成29年度会費の納入及び徴収は、3月中旬頃の予定です。事務的手続きが整いしだい地域班長会議を開催し、順次班長が徴収に伺うことにしています。また、仕事で家を留守にする人や都合により不在が多い人は、事務局へ直接持参するようお願いします。

なお、詳しいことは3月の事務局だよりでお知らせします。

「お願い」

センターでは引き続き会員増強のため、「一会員一人獲得運動」を実施しています。みなさんの友達や知人で、60歳以上の方で働きたい人や地域社会との繋がりを求めている人は居ませんか？そんな方へ一声掛けて入会を勧めてください。ご協力の程よろしく申し上げます。

□刈払機操作講習（黒石市会場）について

今年度2回目の講習を実施します。経験のない方、経験はあるがもっと知識を習得して働きたい方は是非受講してください。修了者には刈払機取扱作業安全衛生教育修了証が交付されます。

前回もお知らせしましたが、官公庁の作業には刈払機取扱作業安全衛生教育修了者が望ましいことから、草刈り班へ所属している人や去年官公庁の作業へ従事した人で、8月に受講していない人は必ず受講するようにしてください。

1. 日 時 2月28日（火）午前9時30分～午後5時
2. 場 所 黒石市シルバーワークプラザ 研修室（2階）
3. 内 容 「刈払機の知識と実技」・「接遇」など
4. 申込・問合せ先 （公社）黒石市シルバー人材センターまで
電話 0172-52-5131

□除雪作業中の事故に注意しましょう

先月、平川市で高所の雪かき作業中、天窓に足を乗せその重みでガラスが割れ、約12メートル下の床に落ち全身を強く打って亡くなった事故が発生しました。作業時にヘルメットや命綱は着けていなかったという。もし、ヘルメットや命綱を着けていれば助かっていたかもしれないことから、作業をする時は必ずヘルメットの着用、屋根に上る場合は命綱・安全帯を使い作業をしてください。

ヘルメットや命綱を着けずに事故に遭った場合、保険の対象とならない場合があるかもしれません。自分や家族のためにも着用を忘れることのないよう注意してください。

□報告・連絡・相談を忘れずに

発注者や自分の都合で、「予定していた日に就業が出来なくなったので日にちを代えた」などの時は、必ず事務局へ連絡してください。請負では、会員と発注者が直接交渉をすることは違法となります。

よって、日にちや就業内容の変更をしようとする場合は、まず事務局へ連絡してください。その後、事務局で発注者と相談したことを

会員へ連絡いたします。

また、発注者と直接交渉をして、怪我や物を壊したなどの事故や問題が発生した場合、センターで責任を負えないことがありますので、充分注意してください。

□理事長のつぶやき ～正月の女性達の仕事・信仰と食事に思う～

正月、節分、マッコ市も終わり、暦の上ではもう春となった。積雪は平年並みだというが、瘦身の小生にとっては「春遠からじ」で、骨身に染みる寒さが続いている。

1月の事だが、私の住んでいる中十川町内会では、女性達の集まりである“おしら様”が行われた。正月の行事として定着してきたようだが、何をやっているのかカミさんに聞くと、明確な答えは返って来なかった。

そこで、正月の女性達の行事として私の思い浮かんだ“おしら様”と郷土食、特に小正月の料理として私の好きな“けの汁”について紹介します。

まず“おしら様”だが、津軽にはあまり馴染みはないが、関東では蚕の神を祭る行事として女性だけで営まれ、多くは正月に行われた。

東北では岩手県遠野市が有名で、昔は蚕を飼っていたこともあって、全域で信仰の対象として行っていたようである。

旧家を中心に広く祀られている神で「オシラ神」とも呼ばれ、御神体は男女が一对で 30 c m 位の木や竹製の棒先に、馬頭のものや烏帽子を被った布を着せて祀っている。

当中十川町内の祭事は、カミさんの話では少し雰囲気が違うようで、イタコと思われる巫女が司祭し、おしら祭文を語りながら、御神体を遊ばせるというもの。家の守護神ということで、災難の除去や、イタコの口寄せのように亡くなった人の霊やいろいろな相談なども行われるそうで、約 30 人も参加しているという。町内会の女性達にとって、正月の欠かせない行事となっているようである。

一方、正月と言えば小正月に食べる“けの汁”で、1月15日の前後の約1週間、昔女性達が実家に帰るため、残った人達が食事に困らな

いようにと作ったのが始まりで、私にとっては最高のご馳走だ。大きな鍋に1週間分もの量を作り置きし、残った人達の胃袋を満たしたことは言うまでもなく、栄養面でも優れ、“鱈のジャッパ汁”と共に津軽を代表する料理と言えます。

鍋の中味は、大根、ごぼう、人参に、凍み豆腐や蒨、ぜんまい、わらび、竹の子、きのこ等の山菜の他、大豆を入れるなど、各家庭で味が微妙に違うのが更に良い。

私はこれらのラインナップに、体を温める為に酒粕を入れて食うのが楽しみで、味噌も半分以下、塩分も控え目で、正月で疲れた内臓を癒してくれる。

しかし、作る方は大変で全ての食材を刻む作業は2~3時間もかかるため、我が家では、いつも頂いたものに味噌を溶かして入れるだけである……。

今年も食べたが、冬の名残りとしてもう1~2回食したいと思うこの頃である。特に酒粕は酵母が入っており、整腸作用があることから、健康食品のエースだと思っているが……。

発 行 公益社団法人黒石市シルバー人材センター

〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1

TEL 0172-52-5131

緊急連絡先 080-6011-5131